

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>
神奈川県衛生研究所

第 289 号

平成 29 年 1 月 20 日発行
病原体検出は平成 28 年 11 月分

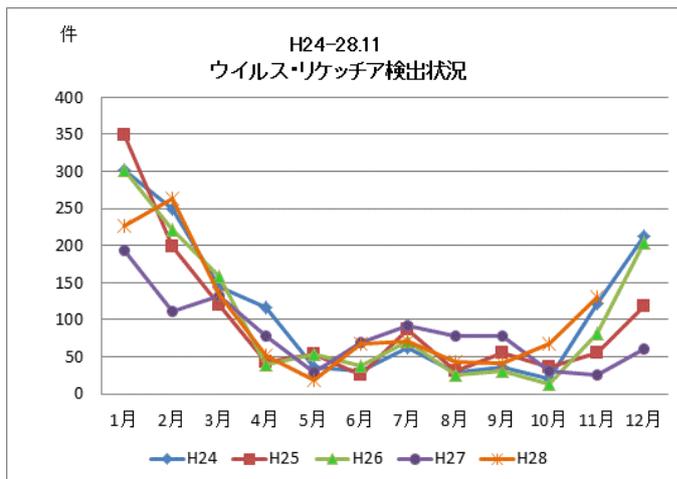
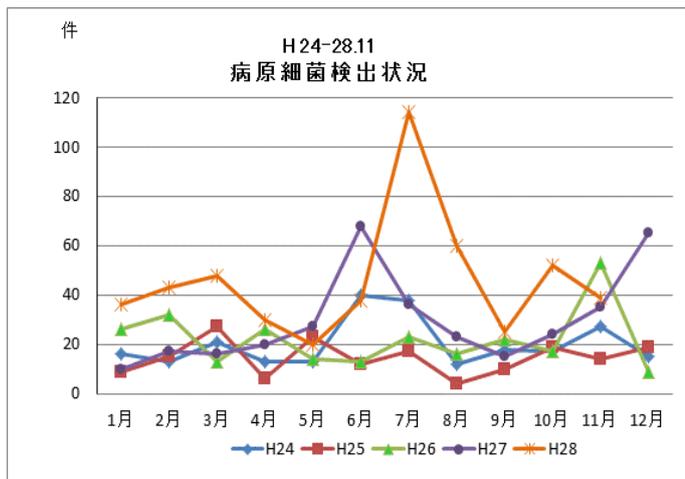
表 1 病原体検出状況(保健所等別)－平成 28 年 11 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査										病原体定点				合 計			
	平塚保健 福祉事務所	秦野セ ンター	鎌倉保健 福祉事務所	鎌倉保健 福祉事務所 三崎セ ンター	小田原保健 福祉事務所	小田原保健 福祉事務所 足柄上セ ンター	茅ヶ崎保健 福祉事務所	厚木保健 福祉事務所	厚木保健 福祉事務所 大和セ ンター	横須賀市保 健所	藤沢市保 健所	計	小児科	インフル エンザ		眼科	基幹	その他の医療 機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌 (EHEC)	5	4		2						3	14						14
	腸管凝集性大腸菌 (EAggEC)												1					1
	その他の大腸菌※												1					1
	カンピロバクター ジェジュニ	3										3						3
	ウエルシュ菌										1	1						1
	A群溶血レンサ球菌												12					12
	エンテロコッカス フェシエイム										4	4						4
	レジオネラ ニューモフィラ								1			1						1
	マイコプラズマ ニューモニエ												1					1
計	8	4		2			1		4	4	23	15				1	39	
ウイルス・ リケッチア	インフルエンザ AH 1 pdm09										1	1						1
	インフルエンザ AH 3		4		5				2		1	12	24	3				39
	コクサッキー A 6											8						8
	エコー 3									3	3							3
	エコー 9											1						1
	ムンプス											6						6
	アデノ 2											1						1
	アデノ 3											1						1
	アデノ 4 1											1						1
	ロ タ											1						1
	ノ ロ	4	13					4		24	15	60	8					68
オリエンチア ツツガムシ			1								1						1	
計	4	18		5			4	2	24	20	77	51	3				131	
合 計	12	22		5	2		4	1	2	28	24	100	66	3			1	170

※：EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

<検出状況>

○ 11月の病原体検出数は合計170件、細菌は39件、ウイルス・リケッチアは131件であった。



- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が15件、ウイルスが51件、インフルエンザ定点からウイルスが3件、その他の医療機関から細菌が1件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)―平成 28 年 11 月

検査検体数	感染症													（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様	（依 保 菌 頼 者 ） 検 査	合 計		
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	バ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症				淋 菌 感 染 症	そ の 他
検査検体数					90	22	7	2	1				1		4	67	1651	1845
腸管出血性大腸菌(EHEC)					8											5	1	14
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)							1											1
その他の大腸菌※							1											1
カンピロバクター ジェジュニ																3		3
ウエルシュ菌																1		1
A群溶血レンサ球菌						12												12
エンテロコッカス フェシウム																4		4
レジオネラ ニューモフィラ													1					1
マイコプラズマ ニューモニエ								2										2
計					8	12	2	2					1		4	9	1	39

※： EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

- 腸管出血性大腸菌感染症届出関連に伴う検査で、90 検体中 8 検体から腸管出血性大腸菌 O157(VT2+) が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 22 検体中 12 検体から、A 群溶血レンサ球菌が検出された。血清型は、T1 が 2 検体、T3 が 6 検体、T4 が 1 検体、TB3264 が 2 検体、UT が 1 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 7 検体中 2 検体から病原細菌が検出された。その内訳は、腸管凝集性大腸菌（血清型 OUT_{afaD}）が 1 検体、その他の大腸菌（血清型 OUT_{aggR}）が 1 検体であった。
- マイコプラズマ肺炎患者 2 検体中 2 検体からマイコプラズマ ニューモニエが検出された。
- レジオネラ症患者 1 検体中 1 検体からレジオネラ ニューモフィラ（血清群 1）が検出された。
- その他の感染症では、バンコマイシン耐性腸球菌感染症患者 4 検体中 4 検体からバンコマイシン耐性エンテロコッカス フェシウム（遺伝子型 VanA）が検出された。
- 食中毒様事例（有症苦情含む）67 検体を検査したところ 9 検体から食中毒菌が検出された。検出菌の内訳は、腸管出血性大腸菌 O157 (VT2+)が 5 検体、カンピロバクター ジェジュニが 3 検体、ウエルシュ菌(Hobbs 12 型)が 1 検体であった。
- 依頼検査では、1651 検体中 1 検体から腸管出血性大腸菌 O157 (VT2+)が検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)―平成27年11月～平成28年11月

	11月	12月	平成27年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	平成28年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)			20		2		2		4	4	6	5	13	14	50
毒素原性大腸菌(ETEC)											2				2
腸管病原性大腸菌(EPEC)					2				1		1				4
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)			2											1	1
その他の大腸菌 ※	4	7	26	1	1	2	1		1	3	5	3	2	1	20
サルモネラ O4群			7		1	1	1								3
サルモネラ O7群			7							1					1
サルモネラ O8群			1			1	1	1							3
サルモネラ O13群													1		1
腸炎ビブリオ											1				1
エロモナス ハイドロフィラ			1						1						1
カンピロバクター ジェジュニ		1	25	4		5	7	2	9	2	25	5	5	3	67
カンピロバクター コリ			2					1					1		2
黄色ブドウ球菌			16	1	1				1	6	1		1		11
ウエルシュ菌			11			1				2			13	1	17
セレウス菌			2												
A群溶血レンサ球菌	8	18	125	7	8	12	12	10	9	6	6	2	4	12	88
エンテロコッカス フェシウム	12	30	46	17	27	22	2		2	2	5	1	1	4	83
百日咳菌				1											1
淋菌									1						1
クラミジア トラコマトイス								1	1	2	1		1		6
肺炎球菌					1			3							4
マイコプラズマ ニューモニエ	9	7	49	4		1	4		7	8	5	8	8	2	47
レジオネラ属菌													1		1
レジオネラ ニューモフィラ	2	2	16	1		3		1			2	1	1	1	10
その他の細菌								1	1	78					80
合計	35	65	356	36	43	48	30	20	38	114	60	25	52	39	505

※:その他の大腸菌: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)—平成28年11月

検査検体数	感染症																食中毒 (有症苦情含む) 様計	合計	
	ウエスト ナイ ル熱	つが 虫病	デ ン グ 熱	日 本 紅 斑 熱	急 性 脳 炎	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	風 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	麻 し ん	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エン ザ 様	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎			そ の 他
検査検体数		1	2				2	29	14			3	8	46		3	2	108	218
インフルエンザ AH1pdm09														1					1
インフルエンザ AH3														39					39
コクサッキー A6									8										8
エコー 3																3			3
エコー 9													1						1
ムンプス													6						6
アデノ 2							1												1
アデノ 3							1												1
アデノ 41								1											1
ロ タ								1											1
ノ ロ								24										44	68
オリエンチア ツツガムシ		1																	1
計		1					2	26	8			7	40		3		44	131	

- つつが虫病疑い患者1例から、オリエンチア ツツガムシが検出された。
- 咽頭結膜熱患者2例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス2型が1例、アデノウイルス3型が1例であった。
- 感染性胃腸炎患者29例中25例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳は、ノロウイルス23例、アデノウイルス41型1例、ノロウイルスおよびロタウイルスの同時検出1例であった。
- 手足口病患者14例中8例から、コクサッキーウイルスA6型が検出された。
- 流行性耳下腺炎患者8例中6例からウイルスが検出された。その内訳は、ムンプスウイルスが5例、ムンプスウイルスとエコーウイルス9型の同時検出が1例であった。
- インフルエンザ様患者32例中29例からインフルエンザウイルスが検出された。その内訳は、インフルエンザAH1pdm09が1例、インフルエンザウイルスAH3型が28例であった。また、集団かぜ患者4集団14例のうち、3集団11例からインフルエンザウイルスAH3型が検出された。
- 無菌性髄膜炎患者1例(3検体)からエコーウイルス3型が検出された。
- 食中毒様事例(有症苦情含む)108検体中44検体から、ノロウイルスが検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成27年11月～平成28年11月

	11月	12月	平成27年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	平成28年累計
インフルエンザ AH1pdm09	3	12	27	121	113	26	1							1	262
インフルエンザ AH3	1	3	205	15	16	11		3				5	14	39	103
インフルエンザ B		1	61	40	62	46	12	2	1				1		164
R S	1	3	6										2		2
コクサッキー A2			3							4	6		2		12
コクサッキー A4			1						4	21	3	1			29
コクサッキー A5			2							3	2				5
コクサッキー A6	3	1	67			1				1	4	6	14	8	34
コクサッキー A9			25												
コクサッキー A10			10						1	13	6	3	1		24
コクサッキー A14			2												
コクサッキー A16			66							1	1	2	1		5
コクサッキー B3	1		2							1	2		3		6
コクサッキー B4			1												
コクサッキー B5		1	1						3	8	1	1	4		17
エコー 3													2	3	5
エコー 6												1	3		4
エコー 9													1	1	2
エコー 11											3				3
エコー 16			2												
エコー 18			2							3	1				4
エンテロ 68			3												
エンテロ 71							1								1
A型肝炎							1(1)								1(1)
パレコ 1			1												
パレコ 3									8	6	3		4		21
パレコ 6	1		3												
ライノ			9			2	3		2	2	1	1	2		13
ムンプス			3		2	1		2	2	1	1	5	1	6	21
麻疹			11									8			8
アデノ 1			5	1			4		1	1	1		1		9
アデノ 2		1	18		1	1	5	2	3	1				1	14
アデノ 3	2	3	53	1	1		1	1	2	1	2		1	1	11
アデノ 4			4		2			3			2				7
アデノ 5		1	2	1	1			1		1					4
アデノ 19			1							1					1
アデノ 37			2								1				1
アデノ 41									1			1	1	1	4
アデノ 46												1			1
アデノ 54										2	1	1			4
アデノ(型未決定)			1												
単純ヘルペス 1			3												
水痘・帯状疱疹		1	2		1										1
サイトメガロ			1				2				1				3
E B			2	1											1
ヒトヘルペス 6			6		1		1				1				3
ヒトヘルペス 7	1		8	1		1			1						3
バルボ B19			1												
ロ タ		1	1				2							1	3
ノ ロ	10	29	326	45	63	45	19	4	37	1		4	9	68	295
サ ボ		3	13						1						1
アストロ			5	1											1
デング			9(9)					1(1)				1(1)	1(1)		3(3)
オリエンチア ツツガムシ	2		2											1	1
合計	25	60	978(9)	227	263	134	52(1)	19(1)	67	72	43	41(1)	68(1)	131	1117(4)

海外渡航者数は(内数)として記載

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 28 年 11 月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数															
	食 品						環 境									
	11月			1~11月累計			11月				1~11月累計					
	食中毒等 取去検査	その他	食中毒等 取去検査	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他				
	54	94	181	140	1157	518			25			9	68	195	144	218
腸管出血性大腸菌(EHEC)	2			5												
その他の大腸菌 ※2					1											4
サルモネラ 04群					1											
腸炎ビブリオ					1											
カンピロバクター ジェジュニ				3												
黄色ブドウ球菌					3	7										
レジオネラ属菌									1					2		
レジオネラ ニューモフィラ 1群									1					8		
レジオネラ ニューモフィラ 3群														4		
レジオネラ ニューモフィラ 4群														4		
レジオネラ ニューモフィラ 5群														2		
レジオネラ ニューモフィラ 6群														6		
レジオネラ ニューモフィラ 7群														1		
レジオネラ ニューモフィラ 8群																1
レジオネラ ニューモフィラ 9群														1		
検出菌計	2			8	6	7			2					28		5

※：河川水を含む。

※2： EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

- 食中毒様事例では、食品（冷凍メンチ）3検体中2検体から腸管出血性大腸菌 O157 (VT2+) が、検出された。
- 環境由来では、浴槽水6検体中2検体からレジオネラが検出された。血清型は、レジオネラ属菌が1検体、1群が1検体であった。